

【参考資料】 平成22年度 実績報告(恵南森林組合)

作成日:平成23年4月28日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	106.82	215	201.3%	H22年度で完了	人工林:施業同意レベル 天然林:長期受委託レベル
いつ	H22年4月~H23年3月	H22年4月~H23年3月	/	通年対応を基本とする。	
誰が	集約化担当:中垣氏	集約化担当:中垣氏		○合意形成:中垣氏 ○杭打作業:生産森林組合、森林所有者 ○測量:森林管理課、地元測量会社、臨時職員	中垣氏:上矢作地区担当者
どういう方法で	個別訪問(30軒) 地区座談会2回 地区外森林所有者 へ郵送案内	個別訪問(20軒) 地区座談会1回 (作業路関係) 地区外森林所有者 へ郵送案内		○合意形成:地区座談会の開催 ○杭打作業:支援交付金を活用し生産森林組合等地元協力者の主導により林班単位で通年実施。 ○測量:ふるさと緊急雇用対策等で募集した臨時職員を境界測量を中心に集約化作業全般に従事させる。	森プロ団地周辺にロコミで取り組みが広がり同様の取り組みが進行中。

間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	利用:22ha 切捨:30ha	利用:0ha 切捨:22.93ha	0.0% 76.4%	H23:20ha H23:30ha	
いつ	H22年4月~H23年3月	H22年4月~H23年3月	/	梅雨、降雪期間を含めて出来る限り通年して素材生産。	
誰が	素材生産担当:森林2課	素材生産担当:森林2課		素材生産担当:森林2課	
どういう方法で	林分毎に最適の集材方法を選択し定性間伐を実施	林分毎に最適の集材方法を選択し定性間伐を実施		引き続き立木配置を考慮し定性間伐を実施。	

主伐[択伐]	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	3	0	0.0%	H23:3ha	
いつ	9月~11月	/	梅雨時や水揚げ時期を避けて実施。		
誰が	素材生産担当:森林2課		素材生産担当:森林2課		
どういう方法で	ヘリコプター集材 or 集材機		集材機		

作業道(路)開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	2,500m	460m	18.4%	H23:2,000m	
いつ	H22年4月~H23年3月	H22年4月~H23年3月	/		
誰が	恵南森林組合	恵南森林組合			
どういう方法で	設計・施工・管理: 森林組合直営	設計のみ地元測量会社に外注。			

素材生産	機械のみ更新(H19)		内容		
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)			伐倒:チェーンソー→集材:グラップル・スイングヤーダ(0.45)→造材:プロセッサ(0.45)→小運搬:クローラダンプ→積込・運搬:(新規)グラップル付トラック(6t)		
素材生産チーム数(チーム員数)	実施前 → 実施後		1チーム(4人/班*2班)	1チーム(4人/班*2班)	
実稼働日数(日)	(H21)	(H22)	11	0	
素材生産性(m ³ /人・日)			3.75	0.00	
素材生産費(円/m ³)	H22計画(実績)		①ラジキャリ:9,140(ー)円/m ³ ②スイングヤーダ6,620(ー)円/m ³ ③スイングヤーダ+プロセッサ:4,660(ー)円/m ³ ④ヘリコプター+プロセッサ:4,189(ー)円/m ³		
年間素材生産量	計画	実績	達成率	備考	今後の対応
モデル団地内	1,500	70	4.7%	作業路支障木のみ	タワーヤーダ・集材機による架線集材を中心に実施。
モデル団地外	9,660	8,072	83.6%	組合全体実績	
合計	11,160	8,142	73.0%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み			
計画	実績	達成度検証方法	今後の対応
森林施業プランナーの育成	プロジェクトを通じて森林施業プランナーを養成(2名)。施業プラン書は組合内で検討中。	森林施業プランの活用件数	職場内で勉強会を開催し、森林施業プランナーを養成予定。
試験研究機関との連携による施業実施後の科学的評価(定点・追跡調査)	H22:森林研究所と多機能フィルター試験地設定。	恵南地域標準施業体系図との比較による検証	調査の継続実施。
えなの森林づくり推進委員会との連携	えなの森林づくり推進委員会で恵南森林組合の集約化の取組を説明(2回)	森林整備及び木材生産の取組状況を報告(毎年度、実施前・中・後の3回)。	えなの森林づくり推進委員会で継続的に恵南森林組合の集約化の取組を説明し恵那市を支援する。
森林所有者を対象とした意向調査	H22:未実施	写真等により森林所有者に施業実施後の様子を報告しアンケートをとる。	プロジェクト実施後、アンケートを実施する(1回、11月に予定)。
その他	第49回)全国林業経営推奨行事にて「全国林業改良普及協会長賞」を受賞。		該当する林業関係コンクールがあれば参加する。